

以下の通り訂正いたします。

正誤箇所	対応	誤	正
P15	修正	アクティベーションには次の3つの方法がありますが、日本では製品認証キーまたはオフラインライセンスを使用してアクティベーションします。	アクティベーションには次の3つの方法があります。
P15	修正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品認証キーを使用してアクティベーション：事前に入手した製品認証キーを入力する。</li> <li>・ESETビジネスアカウント：日本では使用しません。</li> <li>・オフラインライセンス：ユーザーズサイトからダウンロードします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品認証キーを使用してアクティベーション：事前に入手した製品認証キーを入力する。</li> <li>・ESET Business Account：ESET Business Account(EBA)を入力します。</li> <li>・オフラインライセンス：ESET Business Account(EBA)からダウンロードします。</li> </ul>
P28	追記	検出エンジンのアップデートとプログラムコンポーネントのアップデートは、悪意のあるコードからコンピューターを保護するための重要な作業です。	ESET File Security for Microsoft Windows Server V7ではプログラムコンポーネントのアップデート機能は利用できません。
P48	追記	検出エンジンとプログラムコンポーネントのアップデートは、悪意のあるコードからコンピューターを保護するための重要な機能です。	ESET File Security for Microsoft Windows Server V7ではプログラムコンポーネントのアップデート機能は利用できません。
P92	追記	検出エンジンおよびプログラムコンポーネントをアップデートします。	ESET File Security for Microsoft Windows Server V7ではプログラムコンポーネントのアップデート機能は利用できません。
P148	追記	プログラムコンポーネントのアップデートでは、ESET社のアップデートサーバーに最新バージョンへのアップデートファイルが使用可能になったときの動作をあらかじめ設定できます。	ESET File Security for Microsoft Windows Server V7ではプログラムコンポーネントのアップデート機能は利用できません。
P151	追記	「プログラムコンポーネントのアップデート」項目	ESET File Security for Microsoft Windows Server V7ではプログラムコンポーネントのアップデート機能は利用できません。
P156	追記	ここでは、プログラムコンポーネントのアップデートについて以下の設定を行います。	ESET File Security for Microsoft Windows Server V7ではプログラムコンポーネントのアップデート機能は利用できません。
P205	誤植修正	指定された日数を経過したログエントリは自動的に削除されます。既定では「90」日に設定されており、「1」～「100」日に制限できます。	指定された日数を経過したログエントリは自動的に削除されます。既定では「90」日に設定されており、「1」～「10000」日に制限できます。
P230	誤植修正	eShell でset ui ui gui-start-mode terminal コマンドを実行します。	eShell でset ui ui gui-start-mode none コマンドを実行します。
P230	誤植修正	GUI 起動には次の2つのモードがあります。 set ui ui gui-start-mode full set ui ui gui-start-mode terminal 現在のモードを確認するには、get ui ui gui-start-mode コマンドを実行します。	GUI 起動には次の2つのモードがあります。 set ui ui gui-start-mode full set ui ui gui-start-mode none 現在のモードを確認するには、get ui ui gui-start-mode コマンドを実行します。